

教えて?エコパーク先生!

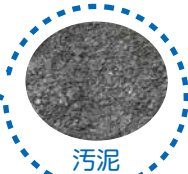
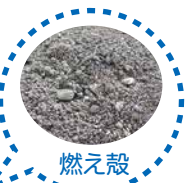


こんにちは!今回はみなさんと「産業廃棄物と一般廃棄物」について勉強しましょう!

廃棄物(ごみ)は大きく2つに分けられます。ひとつが、工場や工事現場などの「ものを作ったりする過程」で出てくる廃棄物(ごみ)で、これを「産業廃棄物」と言います。もう一つは、みんなの家庭から出るごみや会社の事務室などから出るごみで、これを「一般廃棄物」と言います。



ところで「エコパークかごしま」にはどんな廃棄物がいってくるの?



例えば、家やビル、道路や橋などを建てたり壊したりするときに出るがれきや、廃材などを焼却した後の燃え殻、上水道施設等から発生する汚泥などが「産業廃棄物」として埋立処分されます。



排出事業者にお話を伺いました

永田重機土木株式会社(鹿児島市川上町)代表取締役社長 永田雄一さん(一般社団法人鹿児島県産業廃棄物協会会長)にお話を伺いました。

私は、今年1月に一般社団法人鹿児島県産業廃棄物協会会長に就任しました。循環型社会の形成という大きな流れの中であって、処理業界もめまぐるしく変化し、従来の「受け手としての処理・処分を行う業界」から「資源とエネルギーを製造する業界」への移行・転換が急速に進展しており、リサイクルの取組を更に進めることが極めて重要な課題となっています。

このような中、弊社は、土木工事をメインに、産業廃棄物の中間処理や収集運搬業を行っており、「かごしまの未来と環境を考える企業」をキャッチフレーズに掲げ、社員一丸となって頑張っています。

薩摩川内市出身の両親が創業してから今年で50周年の節目を迎えます。今後とも安全第一で地域に貢献できる会社を目指します。



【問い合わせ先】

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社  
〒895-0033 薩摩川内市川永野町 6924 番地 11  
TEL/FAX 0996-21-1220/0996-21-1360  
※この「エコパークかごしま通信」は、当会社ホームページ(<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>)でも閲覧いただけます。

編集後記

今年の夏は、35℃以上の猛暑日が県内各地で相次ぐなど、厳しい暑さが続きました。エコパークかごしまでは、暑さ対策の一環として、グリーンカーテン作りにチャレンジしました。引き続き、皆様に分かりやすい情報提供に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

平成29年10月  
公益財団法人鹿児島県環境整備公社  
(エコパークかごしま)

「エコパークかごしま安全監視委員会」について



本年8月23日に第9回「エコパークかごしま安全監視委員会(委員長:平田登基男鹿児島工業高等専門学校名誉教授)」が開催されました。

監視委員の皆様は、廃棄物の搬入や埋立作業の状況、環境モニタリングの実施状況について報告を受けた後、覆蓋施設内の埋立作業等の状況を確認されました。

会議終了後、平田委員長は、「全体として、順調に稼働している。産業廃棄物の量は、産業活動等に影響されるので、今後注意深く見守りながら、搬入量の増加に努めていただきたい。」とコメントされました。



県議会環境厚生委員会行政視察について



本年7月25日に県議会環境厚生委員会の委員が、「エコパークかごしま」を視察されました。

委員の皆様は、運営状況等について説明を受けた後、施設内の廃棄物の搬入や埋立作業等の状況を見学されました。

## 廃棄物の受入状況について

平成27年1月の開業から本年8月末までに約6万5千6百トンの廃棄物の受け入れを行いました。

内訳は、産業廃棄物が約5万7百トン、一般廃棄物が約1万4千9百トンとなっています。

廃棄物の種類ごとの割合は、多い順に、燃え殻が約33%、がれき類(廃石膏ボード含む)が約26%、汚泥が約21%などとなっています。

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物含む)	21,650.54	33.01
汚泥	14,096.68	21.49
廃プラスチック類	199.36	0.30
紙くず	135.78	0.21
木くず	4,547.63	6.93
繊維くず	186.32	0.28
動植物性残さ	36.44	0.06
ゴムくず	0.00	0.00
金属くず	2.61	0.00
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	4,847.92	7.39
鉱さい	71.48	0.11
がれき類	16,875.49	25.73
ばいじん(一般廃棄物含む)	2,589.12	3.95
13号廃棄物	342.51	0.52
合計	65,581.88	100.00

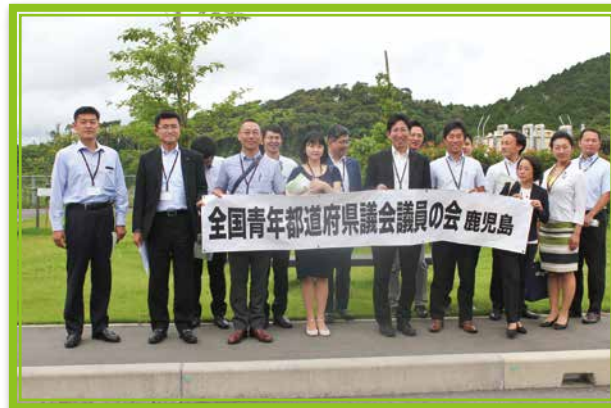
## 道路清掃活動について



梅雨明け後の7月20日、恒例の県道百次木場茶屋線(「エコパークかごしま」までの約1.9km)の道路清掃を当社と維持管理JVの職員で行いました。

道路脇の雑草を払い、交差点の見通しを良くしたほか、落ち葉や小石などを取り除きました。作業に参加した職員は気持ちの良い汗をかくことができました。

## 施設見学受け入れについて



開業以来、本年8月末までに、県内外から約4千4百人の見学者を受け入れました。

先日は、全国青年都道府県議会議員の会の皆さんが視察に訪れました。

施設見学を御希望の場合は、電話で日程等を御確認の上、お申し込みください。(TEL0996-21-1220)

## 地域振興策について



県においては、エコパークかごしま周辺の地域振興策として、県道百次木場茶屋線の道路整備、一級河川勝目川の護岸整備及び準用河川阿茂瀬川の改修を行っています。

現在、県道百次木場茶屋線の道路改良工事を実施中です。

## 環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質等の測定を実施しています。本年3月から8月までの調査結果についても、これまでと同様、異常は認められませんでした。

地下水はエコパークかごしま周辺の観測井2ヶ所、河川水は阿茂瀬川・勝目川の2ヶ所で、定期的に水質測定を実施しています。

水質変化の状況を示す検査項目であるpH(水素イオン濃度)やEC(電気伝導率)をはじめ、地下水では計38項目、河川水では計14項目に及ぶ水質検査を行っており、全ての項目において異常は認められませんでした。

調査結果についてはエコパークかごしまのホームページに掲載しています。

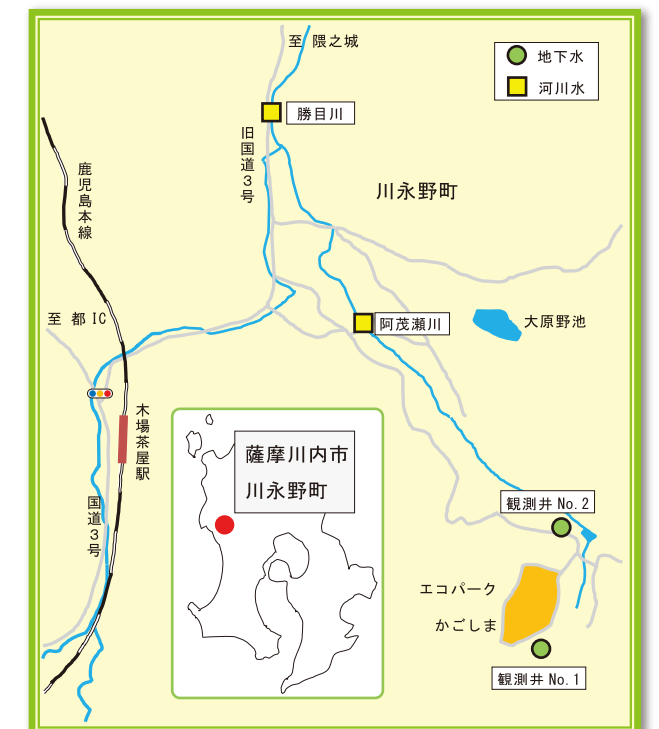


(観測井No.2)



(勝目川)

採水状況



採水地点